

令和5年度  
那珂川市次世代育成支援地域行動計画  
実施状況

目 次

| 基本目標                    | 基本施策                     | ページ |
|-------------------------|--------------------------|-----|
| 1 安心して子どもを産み育てるための環境づくり | 1 母子の健康づくりを推進する          | 1   |
|                         | 2 子育て不安を解消する             | 1   |
|                         | 3 子育て家庭の生活を支える           | 2   |
| 2 子どもが健やかに育つための体制づくり    | 1 子どもの人権を守るとともに、人権教育を進める | 3   |
|                         | 2 子どもの個性と可能性を伸ばす教育を進める   | 4   |
|                         | 3 障がいのある子どもの成長を支援する      | 4   |
|                         | 4 地域での体験や活動ができる環境をつくる    | 5   |
| 3 子育て家庭を支えるための地域づくりの推進  | 1 男女がともに子育てできる環境をつくる     | 6   |
|                         | 2 子育てと仕事の両立を支援する         | 6   |
|                         | 3 地域ぐるみで子育てをするコミュニティをつくる | 7   |
|                         | 4 子育てに優しい生活環境を整備する       | 8   |

| NO.                          | 施策目標            | 事務事業             | 担当課    | 事業概要                                                                                                                                                            | 指標項目               | R2実績値         | R3実績値         | R4実績値          | R5実績値         | R6目標値           | R5実施状況(現状と課題、実現性等)                                                                                                                                                                                                                                                               |
|------------------------------|-----------------|------------------|--------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|---------------|---------------|----------------|---------------|-----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 基本目標 1 安心して子どもを産み育てるための環境づくり |                 |                  |        |                                                                                                                                                                 |                    |               |               |                |               |                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 基本施策(1) 母子の健康づくりを推進する        |                 |                  |        |                                                                                                                                                                 |                    |               |               |                |               |                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 1                            | 1.妊産婦・乳幼児の健康づくり | 乳幼児健康診査の実施       | こども応援課 | 4か月、10か月、1歳6か月、3歳児健診では、問診・身体計測・診察・保健指導・栄養指導などを行います。1歳6か月、3歳児については、歯科健診と歯科保健指導も行います。<br>1歳児健診では、保護者の歯科健診・集団健康教育・保健指導・栄養指導・歯科指導を行い、保護者への育児支援と疾病や異常の早期発見及び予防を図ります。 | 3歳児健診の受診率          | 101%          | 96%           | 94%            | 97.5%         | 100%            | 幼児期における身体発育および精神発達の面からみて重要な3歳児を対象に、医師、歯科医師、心理士などによる総合的健康診査を行い、心身の発育発達やその他疾病及び異常および虐待を早期に発見し、適切な指導を行っている。未受診者に対しては、ハガキや訪問にて受診勧奨を実施している。<br>R5年度はR4年度に比べ受診率が向上していることから、今後もタイムリーに受診勧奨ができるよう体制を強化する。                                                                                 |
| 2                            |                 | 妊婦健康診査の実施・助成     | こども応援課 | 妊婦の健康保持・増進のため、問診・診察・血液検査・尿検査及び超音波検査を実施していきます。また、出産にかかる経費負担を軽減するために、妊婦一般健診にかかる費用を助成します。                                                                          | 1人あたりの助成対象健診回数     | 14回           | 14回           | 14回            | 14回           | 14回             | 母子手帳発行時に、妊婦一般健康診査受診券(14回分)を配布。また、里帰り出産等で県外で出産した場合にも助成制度を設け、妊婦一般健康診査にかかる費用助成を実施した。令和6年度も継続して実施。                                                                                                                                                                                   |
| 3                            |                 | 母子健康手帳の交付        | こども応援課 | 妊産婦が安心して出産、育児ができることを目的に、母子健康手帳を交付します。また、妊婦の健康状態を把握し妊娠早期から支援するために、アンケートを実施します。                                                                                   | -                  | -             | -             | -              | -             | -               | 母子健康手帳交付時に、妊婦の健康状態や産後のサポート、生活状況等のアンケートを実施。それをもとに個別面談を実施し必要に応じて妊娠早期からの支援に繋げた。                                                                                                                                                                                                     |
| 4                            |                 | 父親の育児参加における啓発    | こども応援課 | 妊娠・出産・育児について、母親と父親と一緒に学んでいけるようパンフレットや父子健康手帳を配布します。                                                                                                              | -                  | -             | -             | -              | -             | -               | 初産婦の妊婦に対し、父に対する「PAPABOOK」を配布。令和6年度も継続して実施。                                                                                                                                                                                                                                       |
| 5                            |                 | 新生児訪問の実施         | こども応援課 | 妊産婦、乳幼児の健康保持・増進のため、身体状況及び生活環境等を把握し、日常生活に関する保健指導や情報提供を行います。また、産後うつ予防のためのアンケートを実施し、相談や情報提供を行います。                                                                  | 訪問実施率              | 99.7%         | 99.8%         | 99.4%          | 99.7%         | 100%            | 家庭訪問により母子の健康状態や養育状況の確認、予防接種、健診などサービスの説明を行っている。連絡が取れない等の家庭は手紙、訪問にて積極的な勧奨を行っている。<br>令和5年度は1件(長期療養中の児)未実施。家庭訪問による支援はできなかったが、転出まで電話で支援を実施した。令和6年度令和5年度と同様に実施。未実施家庭には、関係機関と連携しフォロー体制を整える。                                                                                             |
| 6                            | 2.学童期の健康づくり     | 学校における保健教育の実施    | 学校教育課  | 児童、生徒の健康保持増進を図るため、学校において養護教諭などによる保健指導を行います。                                                                                                                     | 実施回数               | 年0～1回         | 年0～1回         | 年0～2回          | 年0～2回         | 年2回             | R5年度において、学校保健委員会を年2回実施した学校は10校中5校であり、R4年度の10校中2校に比べ増加したものの、これまでコロナ禍の影響により長期未実施だったこともあり、全校での実施には至っていない。                                                                                                                                                                           |
| 7                            |                 | 学校における食育の実施      | 教育総務課  | 偏食や欠食をする子どもをなくし、体力、学力の向上に資するため、各学校において食に関する指導計画を策定し、栄養教諭・学校栄養職員を中心に食育を推進していきます。                                                                                 | -                  | -             | -             | -              | -             | -               | 「第1次那珂川市学校教育推進計画」に基づき、市内小中学校の栄養教諭・学校栄養職員が学級担任等と連携することで、食育を推進することができた。さらに、各学校の食育活動に対し、那珂川市学校給食会から食育活動助成金を交付することで、学級活動における食育指導や弁当の日等に関する指導の充実が図れた。<br>また、令和5年度に食育推進委員会において「第2次那珂川市学校教育推進計画」を策定しており、今後は計画の達成状況と効果を検証していく。                                                           |
| 8                            |                 | 地域における食育啓発の実施    | こども応援課 | 地域における健康の保持増進を図るため、健診や教室を通して食生活の大切さを啓発していきます。                                                                                                                   | 3歳児健診時におけるおやつ提供の回数 | 0回            | 2回            | 0回             | 0回            | 12回             | 3歳児健診における手作りおやつ提供はR3年から開始したが新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、R5年度まで提供を中止した。<br>おやつ提供は中止したが引き続き食生活の大切さを普及啓発するために保健センター栄養士と食生活改善推進員による健康教育を3歳児健診で実施。健康教育内で朝食摂取状況の確認し、欠食率を減少させるために朝食を摂った日を記録するシール台帳を配布することで保護者とこどもの意識改善に働きかける関わりを行っている。<br>R6年度以降も継続して実施できるよう食生活改善推進員と保健センター栄養士と連携をとりながら事業を継続する。 |
| 基本指針(2) 子育て不安を解消する           |                 |                  |        |                                                                                                                                                                 |                    |               |               |                |               |                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 9                            | 1.子育て支援の場の整備    | ふれあいこども館の運営      | こども応援課 | 地域子育て支援拠点として、ふれあいこども館を運営します。あわせて、幼児・児童に遊びの場を提供する等、児童館としても運営します。                                                                                                 | -                  | -             | -             | -              | -             | -               | 開館日数 303日<br>来館者数 42,091人<br>内訳 乳幼児親子 23,427人<br>小学生 9,004人<br>中高生 4,176人<br>その他 5,484人                                                                                                                                                                                          |
| 10                           |                 | 地域子育て支援拠点の充実     | こども応援課 | 子育て支援サービスの機能的な充実を図るため、地域の子育てサロンと連携し、子育て親子の支援を行います。                                                                                                              | 施設数                | 0か所           | 0か所           | 1か所            | 2か所           | 3か所             | 子育てサロンのある行政区は13か所あるが、ふれあいこども館に要請があったのは2か所だった。<br>要請のあった道善区、王塚台区の子育てサロンへは職員を派遣し、楽しいプログラムを実施した。どちらの子育てサロンからも来年度も要請したいという感想をいただいた。R4年度より1か所増えたので評価している。<br>新型コロナウイルス感染症の影響により、子育てサロンの活動が中止となったことで、ふれあいこども館への要請がなかなか増えないのが課題である。今後も社会福祉協議会を通して周知を図る。                                 |
| 11                           |                 | 親子のふれあいを推進する場の提供 | こども応援課 | 親子の絆を深めるため、親子で一緒に触れ合うことができる場を提供し、保育士などにより触れ合い方の指導を行います。                                                                                                         | プログラムの開催回数・参加者数    | 95回<br>1,578人 | 86回<br>1,431人 | 198回<br>3,364人 | 44回<br>1,534人 | 305回<br>11,000人 | ①乳幼児と保護者向けプログラム<br>すくすく広場 29回 1,075人<br>サンデーあそび 9回 362人<br>②赤ちゃんパパママの集い 6回 97人<br><br>ふれあいこども館は、日常的に来館した乳幼児親子が安心して親子で遊ぶことができるように場を設定している。そのため、プログラムではないが、日常的に来館された乳幼児親子の遊びの様子を観察し、適宜、保育士がより良い親子でのふれあい方や言葉かけの仕方をアドバイスしている。                                                        |
| 12                           |                 | 育児相談及び講座の実施      | こども応援課 | 親が抱く子育ての不安を解消するため、保育士などによる育児相談及び講座を実施します。                                                                                                                       | 相談件数               | 274件          | 239件          | 240件           | 157件          | 100件            | ①ことばの相談 開催日数 10日 相談件数 17件<br>②発達相談 開催日数 8日 相談件数 16件<br>③すくすく育児相談(随時) 相談件数 124件(面談、電話相談)<br><br>乳幼児を育てている保護者向けに「防災から赤ちゃんを守る」(年2回)や「赤ちゃんパパママの集い」(年6回)のプログラムを行い、子育ての不安を軽減するようにしている。                                                                                                 |

| NO. | 施策目標 | 事務事業       | 担当課    | 事業概要                                                        | 指標項目  | R2実績値 | R3実績値 | R4実績値 | R5実績値 | R6目標値 | R5実施状況(現状と課題、実現性等)                                                                                                                                        |
|-----|------|------------|--------|-------------------------------------------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 13  |      | 子育てサークルの育成 | こども応援課 | 子育てをしている親同士でつくるサークル活動を活発にするため、サークル活動に役立つ情報を提供するなど、育成を支援します。 | サークル数 | 2件    | 4件    | 3件    | 4件    | 5件    | サークル登録の周知は、ホームページで行っている。R5年度は市民文化祭の折に、ふれあいこども館で「こども文化祭」を開催し、各子育てサークルの活動を写真や作品を掲示することで紹介した。サークル活動の充実を図るために、ふれあいこども館のおもちゃや絵本を貸し出したり、保育士である職員が活動へのアドバイスを行った。 |

| NO. | 施策目標                | 事務事業                 | 担当課    | 事業概要                                                                                       | 指標項目                   | R2実績値         | R3実績値         | R4実績値         | R5実績値                                                                                                                                                                                                    | R6目標値         | R5実施状況(現状と課題、実現性等)                                                                                                                                                                                                                                           |
|-----|---------------------|----------------------|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------|---------------|---------------|---------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 14  |                     | 本を通じた親子の交流の場の提供      | こども応援課 | 本を通じて、親子の絆を深めるため、乳児とその保護者を対象にしたブックスタート事業を行います。                                             | 参加率                    | 49%           | 45%           | 54%           | 45%                                                                                                                                                                                                      | 65%           | ふれあいこども館において「すくすくブックタイム」プログラムとして毎月実施している。<br>対象は 生後4カ月児とその保護者だが、開催日に都合がつかなかった保護者のために、1歳の誕生日月末日まで受けることができるようにしている。個別対応もしている。<br>読み聞かせは、ふれあいこども館職員、市図書館司書、読み聞かせボランティアで行っている。<br>マンツーマン方式で行うことで、読み聞かせの良さを保護者が実感できるようにしている。<br>対象児数 350人<br>参加者数 159人<br>参加率 45% |
| 15  |                     | 地域子育て支援拠点のサテライト施設の拡充 | 社会教育課  | 社会教育施設において子育て支援に関する図書、ビデオ等の貸し出しを実施します。                                                     | -                      | -             | -             | -             | -                                                                                                                                                                                                        | -             | ●実績値 令和5年度の利用人数<br>中央公民館……図書貸出 346人 DVD貸出……16人<br>北地区公民館…図書貸出 301人<br>南地区公民館…図書貸出 34人<br>合計………697人<br><br>●那珂川市図書館のリニューアル工事に伴う休館中に利用者が増加した<br>●那珂川市図書館の出張図書事業に伴い利用者が増加した                                                                                     |
| 16  |                     | 保育所における育児相談や保育指導の実施  | 子育て支援課 | 保育所に入所していない乳幼児と保護者を対象に、認可保育所で保育所体験や保育についての助言・指導、育児相談などを行います。                               | 開設日数                   | 1施設あたり<br>月2回 | 1施設あたり<br>月2回 | 1施設あたり<br>月2回 | 1施設あたり<br>月2回                                                                                                                                                                                            | 1施設あたり<br>月2回 | 月2回公開保育を行い、うち希望者に対し育児相談を行った。<br>●保育所体験者数1,145人                                                                                                                                                                                                               |
| 17  | 2.子育てに関する相談・情報提供の充実 | 離乳食に関する学習の場の提供       | こども応援課 | 乳児の保護者や出産前後の保護者を対象に、離乳食について学べる場として、保健師・管理栄養士による離乳食教室を行います。                                 | -                      | -             | -             | -             | -                                                                                                                                                                                                        | -             | 第1子で5か月になる児を対象に全12回実施。<br>対象者122人に対し教室参加者97人、教室に参加できなかった方には個別で対応するなど離乳食について学べる場の提供を実施できた。                                                                                                                                                                    |
| 18  |                     | 育児相談の実施              | こども応援課 | 保護者の育児不安を解消するため、保健師・管理栄養士・助産師が発達に応じた保健指導、栄養指導を行います。                                        | -                      | -             | -             | -             | -                                                                                                                                                                                                        | -             | のびのび育児相談において保健師、管理栄養士、助産師により個別相談を実施。予約制であったが、予約なしの来所も受け付けるよう方法を変更したことで利用者増となった。また、随時保護者から相談を受け付け、対象者に応じて電話・来所・訪問により対応した。                                                                                                                                     |
| 19  |                     | 家庭訪問・電話相談の実施         | こども応援課 | 子育てに関する保護者の悩みや乳幼児に対する保健・栄養指導や諸制度の活用方法の助言を行うため、家庭児童相談員や保健師等による家庭訪問や電話相談を実施します。              | -                      | -             | -             | -             | -                                                                                                                                                                                                        | -             | ○子育てに関する相談や、育児不安軽減を目的とした面談、情報提供を行った。<br>○必要に応じて、保健センター保健師やふれあいこども館、にじいろキッズ、福岡児童相談所等と連携し、保護者が必要な支援に繋がるよう支援を行った。<br>【令和5年度相談件数】<br>電話 1,583件<br>面接 548件<br>訪問 354件<br>その他 1,758件<br>計 4,243件                                                                   |
|     | こども応援課              |                      | -      |                                                                                            | -                      | 114件          | 136件          | 150件          | 子育て支援や育児不安軽減を図るため家庭訪問事業を実施した。食事に関する相談等必要に応じて管理栄養士による訪問も実施した。また、こども応援課やこども館、療育センター等他部署との連携を図り、より適切な支援に繋げるようサポートを行った。令和6年度も継続して実施。<br>訪問件数は訪問支援の必要性により増減するため事業達成の指標とはならないが、数値目標としては、目標値を令和5年度の1割増の150件とする。 |               |                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 20  |                     | 利用者支援の実施             | こども応援課 | 子どもや保護者からの子育て支援に関する施設・事業等の利用についての相談に応じ、情報の集約・提供や助言、その他の援助を実施します。また、必要に応じ、関係機関との連絡調整等も行います。 | 実施施設数                  | 1施設           | 1施設           | 1施設           | 1施設                                                                                                                                                                                                      | 1施設           | 1施設(ふれあいこども館)<br>①ことばの相談 開催日数 10日 相談件数 17件<br>②発達相談 開催日数 8日 相談件数 16件<br>③すくすく育児相談(随時) 相談件数 124件(面談、電話相談)<br><br>毎月実施している「すくすく広場」を開催する際、こども応援課家庭担当に来館してもらい、「すくすく広場」終了後、相談がある保護者が気軽に相談できるようにしている。                                                              |
| 21  |                     | インターネット等による子育て情報の充実  | こども応援課 | ホームページや子育て情報サイト、子育て情報誌に子育てに関する情報を掲載し、内容の充実を図っていきます。                                        | インターネットでの情報入手先の割合      | -             | -             | -             | -                                                                                                                                                                                                        | 40%           | ふれあいこども館では、写真やコメントをまとめ、プログラムごとにPDF化してホームページに掲載し、未体験者にプログラム内容が伝わるようにしている。また、月の予定や活動の様子がいち早く伝わるように、インスタグラムも活用している。市内の子育て情報についてアプリの「母子モ」や子育て情報冊子nobi-nobiで発信している。                                                                                               |
| 22  | 3.保護者同士の交流の促進       | 子育てサークルの活動の場の提供      | こども応援課 | 子育てサークルを支援するため、活動場所としてふれあいこども館や保健センター、地区公民館など、公共施設を提供します。                                  | 子育てサークルが使用する際に優遇される施設数 | 5か所           | 5か所           | 5か所           | 5か所                                                                                                                                                                                                      | 5か所           | 那珂川市子育てサークル・グループ登録実施要領で規定している。<br>ふれあいこども館<br>中央公民館<br>北地区公民館<br>東地区公民館<br>南地区公民館<br>ふれあいこども館で登録している4つの子育てサークルは、毎回ふれあいこども館内で活動を行った。                                                                                                                          |
|     |                     |                      | こども応援課 |                                                                                            | 実施回数                   | 12回           | 7回            | 46回           | 51回                                                                                                                                                                                                      | 12回           | 子育て中の保護者同士の関係をつくるきっかけを提供することを目的の一つとしたプログラムを実施した。<br>実施回数 51回<br>すくすく広場 29回<br>サンデーあそび 9回<br>ママのほっとタイム 12回<br>はじめまして広場 1回 ※双子の妊婦さんの要望で双子を育てている保護者の集いを実施                                                                                                       |

| NO. | 施策目標 | 事務事業          | 担当課   | 事業概要                           | 指標項目            | R2実績値 | R3実績値 | R4実績値 | R5実績値 | R6目標値 | R5実施状況(現状と課題、実現性等)                                                                                                                     |
|-----|------|---------------|-------|--------------------------------|-----------------|-------|-------|-------|-------|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 23  |      | 子育て世代の交流の場の提供 | 人権政策課 | 子育て中の保護者の孤立化を防止するため交流の場を提供します。 | セミナー及び遊びの広場実施回数 | 22回   | 14回   | 26回   | 25回   | 30回   | ○子育てステップアップセミナー<br>「絵本との出会い」「これなあに？からはじまる絵本づくり」<br>西日本短期大学 平山隆浩教授他<br>実施回数:2回<br>参加者数:74人<br>○あそびの広場こっちむいてホイ！<br>実施回数:23回<br>参加者数:337人 |

| NO. | 施策目標      | 事務事業              | 担当課   | 事業概要                                        | 指標項目   | R2実績値 | R3実績値 | R4実績値 | R5実績値 | R6目標値 | R5実施状況(現状と課題、実現性等)                                                                                                                               |
|-----|-----------|-------------------|-------|---------------------------------------------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 24  | 4.家庭教育の充実 | 家庭教育学級の実施         | 社会教育課 | 子育てについて学習し、良好な親子関係や家庭環境をつくるため、家庭教育学級を実施します。 | 参加人数   | 116人  | 141人  | 236人  | 420人  | 250人  | ●家庭教育学級：参加者のべ420名(講座20回)、登録数62名<br>「子育てをしながら、自分自身を育てる」ことを目的に家庭教育学級を開講した。<br>令和5年度は、不測の事態には、オンラインでも実施できるように環境整備をしていたが、全ての講座を対面で通常開催することができた。      |
| 25  |           | 学習会などに参加しやすい環境の整備 | 社会教育課 | 託児環境の普及など、保護者が学習会などへ参加しやすい環境をつくります。         | 託児の実施率 | 100%  | 100%  | 100%  | 100%  | 100%  | ●家庭教育学級講座時託児 20回実施<br>託児利用者 のべ 132人                                                                                                              |
| 26  |           | 家庭教育学級の弾力化        | 社会教育課 | チラシや広報紙による研修の周知をおこないます。                     | -      | -     | -     | -     | -     | -     | 年度当初に、学級生募集および年間講座計画表を那珂川市ホームページおよび広報なかがわに掲載した。また、一般市民が参加できる講座の周知を、広報なかがわ、母子手帳アプリ「母子モ」、市公式インスタグラム、市公式LINEなどに掲載し、あわせて、市内小中学校、公共施設などへチラシの配布をおこなった。 |

基本施策(3) 子育て家庭の生活を支える

|    |                  |                     |        |                                                                                     |         |                      |                      |                      |                      |                      |                                                                                                                                                                                                       |
|----|------------------|---------------------|--------|-------------------------------------------------------------------------------------|---------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 27 | 1.子育て家庭への生活支援の充実 | 自立支援教育訓練給付金等の活用促進   | こども応援課 | 母子家庭の母親及び父子家庭の父親の就労を支援するため、自立支援教育訓練給付金等の活用を促進します。                                   | -       | -                    | -                    | -                    | -                    | -                    | (自立支援教育訓練給付金)<br>○ひとり親の就職につながる能力開発のために、受講した対象講座の受講料の一部を支給した。<br>(高等職業訓練促進給付金)<br>○ひとり親の就職につながる有利な資格取得のため、修業している期間の生活費を支給した。<br>【給付実績】<br>自立支援教育訓練給付金 0件<br>高等職業訓練促進給付金 2件<br>高等学校卒業程度認定試験合格支援事業給付金 0件 |
| 28 |                  | 経済的支援制度の普及促進        | こども応援課 | 経済的に困窮するひとり親家庭等に対し、福岡県の貸付制度などの紹介や活用をサポートします。                                        | -       | -                    | -                    | -                    | -                    | -                    | ○ひとり親家庭や寡婦の経済的な自立や子どもの福祉の増進をはかるため、子の修学資金をはじめとする様々な貸付を行った。<br>【実施状況】<br>貸付申請 0件<br>継続貸付 1件                                                                                                             |
| 29 | 2.子育ての経済的負担の軽減   | 乳幼児にかかる医療費の助成       | 市民課    | 子育てにかかる保護者の経済的な負担を軽減するとともに、乳幼児の医療受診を促進し、健やかな育成を支援するため、乳幼児にかかる医療費の一部を助成します。          | 助成対象    | 小学生未満                | 小学生未満                | 小学生未満                | 小学生未満                | 小学生未満                | 令和5年度末時点(R6.3.31)対象者数2,904人(0歳～6歳)<br>乳幼児及び児童の保健の向上と福祉の増進のため、医療費を助成した。                                                                                                                                |
| 30 |                  | 入院が必要な未熟児にかかる医療費の助成 | 市民課    | 子育てにかかる保護者の経済的な負担を軽減するとともに、乳児の健全な育成を図るため、乳児にかかる医療費の一部を助成します。                        | -       | -                    | -                    | -                    | -                    | -                    | 医療費助成額 2,095,577円<br>医療費助成件数 24件                                                                                                                                                                      |
| 31 |                  | 児童にかかる医療費の助成        | 市民課    | 子育てにかかる保護者の経済的な負担を軽減するとともに、児童の医療受診を促進し、健やかな育成を支援するため、児童にかかる医療費の一部を助成します。            | 助成対象    | 小学校1年生から<br>中学校3年生まで | 小学校1年生から<br>中学校3年生まで | 小学校1年生から<br>中学校3年生まで | 小学校1年生から<br>中学校3年生まで | 小学校1年生から<br>中学校3年生まで | 令和5年度末時点(R6.3.31)対象者数 4,496人(7歳～15歳)<br>乳幼児及び児童の保健の向上と福祉の増進のため、医療費を助成した。                                                                                                                              |
| 32 |                  | ひとり親家庭等への医療費助成      | 市民課    | ひとり親家庭の経済的な負担を軽減するとともに、ひとり親世帯の家族の医療受診を促進し、健全な家庭環境の育成を支援するため、ひとり親家庭にかかる医療費の一部を助成します。 | -       | -                    | -                    | -                    | -                    | -                    | 令和5年度末時点(R6.3.31)対象者数 1,075人<br>医療費助成額 42,759,104円<br>医療費助成件数 14,032件                                                                                                                                 |
| 33 |                  | 児童扶養手当の支給           | こども応援課 | 児童扶養手当法に基づく経済的支援を通じてひとり親家庭等を支援します。                                                  | -       | -                    | -                    | -                    | -                    | -                    | 制度案内・相談や申請受付を行った。<br>また、年度更新の手続きについても対面で全受給資格者に対して行った。<br>新規受付件数 65件<br>転入受付件数 9件<br>受給者数(R6.3.31末時点) 550人                                                                                            |
| 34 |                  | 児童手当の支給             | こども応援課 | 児童手当法に基づく経済支援を通じて、中学生以下の子どもを養育する家庭を支援します。                                           | -       | -                    | -                    | -                    | -                    | -                    | 児童手当の支給要件に該当する児童を持つ保護者に対して、申請の案内、受付を行った。<br>一般受給者<br>児童手当 延83,149人<br>特例給付 延2,551人<br>施設等受給者<br>児童手当 延254人                                                                                            |
| 35 |                  | 学童保育所利用料金の助成        | 子育て支援課 | 生活保護受給世帯や児童扶養手当受給世帯、市民税非課税世帯など、経済的に生計が厳しい世帯に対して、学童保育所の利用料金に対する助成を行います。              | -       | -                    | -                    | -                    | -                    | -                    | ●利用料金助成件数<br>生活保護13件<br>非課税世帯22件<br>ひとり親世帯61件                                                                                                                                                         |
| 36 |                  | 里親制度の普及・推進          | こども応援課 | 両親が育てられない子どもを健全に育成するため、県の里親制度の普及を促進します。                                             | 里親の登録状況 | -                    | -                    | -                    | -                    | -                    | 4世帯                                                                                                                                                                                                   |
| 37 |                  | 実質徴収に係る補足給付を行う事業の検討 | 子育て支援課 | 低所得世帯を対象に、特定教育・保育施設等が実質徴収する日用品や文房具等の購入に要する費用、行事への参加に要する費用などについて費用の一部を補助する事業の検討を行います | -       | -                    | -                    | -                    | -                    | -                    | 所管課において、実施に係る検討を行ったが実現に至っていない。                                                                                                                                                                        |

基本目標 2 子どもが健やかに育つための体制づくり

基本施策(1) 子どもの人権を守るとともに、人権教育を進める

|    |           |                     |             |                                                                       |                        |        |        |       |       |       |                                                                                                                                                                                                                 |
|----|-----------|---------------------|-------------|-----------------------------------------------------------------------|------------------------|--------|--------|-------|-------|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 38 | 1.人権教育の充実 | 就学前児童における人権・同和教育の充実 | 子育て支援課(幼稚園) | 保育所、幼稚園において国際交流や障がいのある子どもとの交流を行い、様々な人とふれあう機会を増やすなど、人権・同和教育を推進します。     | 人権週間、同和問題啓発強調月間の取り組み実施 | 各園2回実施 | 各園2回実施 | 年2回実施 | 年2回実施 | 年2回実施 | 幼稚園における人権・同和教育は、日々の教育活動そのものであるという認識の下、一人ひとりの人権が尊重されるよう、日々取り組んできた。また、人権週間、同和問題啓発強調月間の取り組みとして、人権・同和教育の各学年のねらいに沿った絵本を、親子で読んでもらう機会をつくり、家庭においても考える機会となるようにした。また、人権週間には、人権フェスタで展示する子どもの作品に、保護者のメッセージを添えてもらい、取り組みを行った。 |
| 39 |           | 学校における人権・同和教育の充実    | 教育指導室       | 一人ひとりの子どもを大切にする個に応じた教育を行い、人権尊重精神をはぐくむ取組を推進します。また、様々な人とふれあう機会の充実を図ります。 | -                      | -      | -      | -     | -     | -     | ●様々な人権問題について学習するための同和教育副読本「かがやき」(福岡県教育委員会同和教育副読本作成委員会)等を活用した人権学習を実施した。<br>●各学校において計画的に実施することができた。                                                                                                               |

| NO.   | 施策目標                 | 事務事業                   | 担当課           | 事業概要                                                                                             | 指標項目                               | R2実績値 | R3実績値 | R4実績値  | R5実績値  | R6目標値                                                         | R5実施状況(現状と課題、実現性等)                                                                                                                                                                                                                                     |
|-------|----------------------|------------------------|---------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------|-------|-------|--------|--------|---------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 40    | 2.児童虐待やいじめ等への取り組みの充実 | 解放子ども会の実施              | 人権政策課         | 同和地区の子ども達が部落差別に負けない力を養うとともに、人権の大切さや人を思いやる心を育むため、人権学習や学力促進学級等年間を通した活動を行います。                       | -                                  | -     | -     | -      | -      | -                                                             | ○EKOチャレンジ教室(小・中累計)<br>実施回数:255回<br>参加総数:2159人<br>事業内容:学力促進学級や人権学習を実施。九州大学の学園祭に参加するなどの館外学習を実施し、自らの将来について考えるきっかけづくりなどにも取り組んだ。                                                                                                                            |
| 41    |                      | 人権作文・人権ポスター・人権標語の募集・表彰 | 人権政策課         | 人権感覚を高め、人権・同和教育を推進するため、市内の小学校、中学校、高校の児童、生徒から人権作文、ポスター、標語等の作品を募集し、優秀賞作品の展示及び表彰等を行います。             | -                                  | -     | -     | -      | -      | -                                                             | 応募総数は3,610点、展示および表彰総数は236点。<br>応募作品の取り扱いの公平性及び取り組む児童・生徒の負担の軽減を目的として、R5年度より「人権作文・人権標語・人権ポスター」「男女共同参画作品」「社明を明るくする運動作文コンテスト」の募集を「人権作品等募集」に統一し、輪番で各部門に取り組むように変更を行った。<br>人権作品等の募集の他にも団体等から複数の作品・作文依頼があるため、児童・生徒の負担が大きくなりすぎていないかを検討しながら、持続可能な形で取り組んでいく必要がある。 |
| 42    |                      | 恵子児童館子どもまつりの開催         | 人権政策課         | 将来を担う子どもの人権意識を高め、人権のまちづくりを進めていくために、恵子児童館子どもまつりを開催します。                                            | 参加人数                               | -     | 563人  | 209人   | 1,500人 | 1,800人                                                        | ○恵子児童館子どもまつり<br>実施回数:1回<br>参加者数 1500名(推計)<br>実施状況:こども運営委員を募集し、こどもたちが「人権を大切にする」ことを考え、開会行事におけるこどもの権利条例の啓発などの取り組みの企画や運営を行った。                                                                                                                              |
| 43    |                      | 人権フェスタなかがわの実施          | こども応援課        | 市民の人権意識を高め、人権のまちづくりを進めていくため、「人権フェスタなかがわ」を実施します。                                                  | -                                  | -     | -     | -      | -      | -                                                             | 人権フェスタなかがわの実施会場として、ふれあいこども館1階ホールに市内の幼稚園児や保育園児の作品、学同研の作品を展示した。<br>市立幼稚園職員、那珂川市図書館司書、地域の読書ボランティアによる読み聞かせを行った。その際には、手話通訳を配置した。<br>2階では、恵子児童館職員とふれあいこども館ジュニアボランティアによるブラバン制作を行った。<br>ふれあいこども館の職員が事務局に入り、人権フェスタの運営に関わっている。                                   |
|       |                      |                        | 人権政策課         |                                                                                                  | 参加人数                               | 0人    | 843人  | 2,052人 | 3,217人 | 3,000人                                                        | ○事業名:第29回人権フェスタなかがわ2023<br>○事業内容:飲食バザーについても再開し、ステージ発表、小中学校及び各団体の展示、バザー、クラフト体験、喫茶、おはなし会などコロナ禍以前と同等の規模で開催した。<br>○参加者数:3,217人                                                                                                                             |
| 44    |                      | 児童館事業の充実               | 人権政策課         | 恵子児童館事業の更なる充実を図っていくためふれあいこども館と連携しながら、児童館が開催する市民への人権啓発イベントや各種事業などの企画・運営を行います。                     | -                                  | -     | -     | -      | -      | -                                                             | 恵子児童館子どもまつりや子育てステップアップセミナーなど各種事業において、こども運営委員やこども館と連携し、啓発イベントの企画・運営を実施した。                                                                                                                                                                               |
|       |                      |                        | こども応援課        |                                                                                                  | -                                  | -     | -     | -      | -      | -                                                             | ふれあいこども館と恵子児童館は常日頃からの情報共有にあわせて、年に1回連絡調整会議を行い、情報の共有や意見交換を実施している。<br>また、お互いの月間のチラシやポスター掲示をしたり、来館者へ紹介したりしている。<br>恵子児童館子どもまつりに関しては、事務局として、まつりの準備段階から協力している。<br>子育てステップアップセミナー(恵子児童館主催)や出前広場(ふれあいこども館主催)などのプログラムも実施している。                                    |
| 45    |                      | 保護者に対する人権教育の推進         | 社会教育課         | 子どもの人権を守るため、家庭教育学級で人権教育に視点をおいた講座を実施します。また、市内の社会教育団体を対象に人権研修会等を開催します。                             | 開催回数                               | 3回    | 18回   | 30回    | 42回    | 60回                                                           | ●家庭教育学級: 2回<br>人権教育に視点を置き、子どもの自尊感情、那珂川市こどもの権利条例などについて講座を行った。(家庭教育学級講座25回のうち2回実施)<br>●7月同和問題啓発強調月間における社会教育団体対象の人権問題研修会:5回<br>●各区公民館人権問題研修会: 34回<br>●高砂大学講座:1回(教養講座9講座中1講座)                                                                              |
| 46    |                      | 教職員、保育士に対する人権研修の促進     | 子育て支援課(中央保育所) | 教職員や保育士を対象とした人権研修会を実施します。<br>また、市独自の教職員研修等の充実を図るとともに、市内外で開催される各種研修会や研究会などへ職員が参加するよう積極的に参加を促進します。 | 同和問題強調月間に開催される人権・同和問題研修への教職員参加者の割合 | 100%  | 100%  | 100%   | 100%   | 100%                                                          | 同和問題講演会や筑紫地区人権・同和教育研究大会等の様々な研修に参加し、各自研鑽を重ねた。<br>また、全国人権保育研究会に参加した。                                                                                                                                                                                     |
| 教育指導室 |                      |                        | -             |                                                                                                  |                                    | -     | -     | -      | 90%    | ●新転任者に対して4月に研修を実施した。<br>●校園長会で7月に研修を実施した。<br>●計画的に実施することができた。 |                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 47    |                      | 啓発冊子「あしたへ生きる」の発行       | 人権政策課         | 同和問題を始めとする様々な人権問題について、市民への啓発を行うため、啓発冊子「あしたへ生きる」を発行します。                                           | 発行回数                               | 年0回   | 年1回   | 年1回    | 1回     | 年1回                                                           | ○事業名:啓発冊子「あしたへ生きる」「明るいあしたのために」の作成<br>○事業内容:啓発冊子編集委員会にて冊子を作成し、12月に各戸配布を行った。<br>○実施結果:各戸配布数 18,973部                                                                                                                                                      |
| 48    |                      | 体罰の防止のための教職員等への人権教育    | 教育指導室         | 学校における生徒指導において、体罰を行うことのないよう、教職員等の研修や指導を徹底します。                                                    | -                                  | -     | -     | -      | -      | -                                                             | ●校園長会を通じて「体罰は絶対に許されない」という指導並びに生徒指導提要(改訂版)に則った指導の徹底を図った。<br>●不祥事防止の取組として、各学校での研修や面談を行った。                                                                                                                                                                |
| 49    |                      | 児童虐待防止対策の推進            | こども応援課        | 児童虐待に関して、広報などを通じて防止を呼びかけるとともに、虐待を行う保護者や虐待を行う恐れがある保護者のケアや助言を行うため、家庭児童相談員や保健師等による家庭訪問や見守りを行います。    | -                                  | -     | -     | -      | -      | -                                                             | ○要保護児童対策地域協議会や児童家庭支援関係者連絡会などの定例の会議で情報共有や連携を図り、支援の状況や対応について検討した。<br>○市内の小中学校や幼稚園、保育園、認定こども園などと情報共有を行い、支援が必要な児童・保護者の早期発見や支援方法、役割分担などについて適宜協議した。<br>【令和5年度 児童虐待相談件数】<br>・児童虐待相談 43 件<br>・養護相談(虐待以外) 41 件<br>・児童の一時保護 2 件<br>・通報件数 37 件                    |
|       |                      |                        | こども応援課        |                                                                                                  |                                    | -     | -     | -      | -      | -                                                             | 母子手帳発行、乳児家庭全戸訪問事業、乳幼児健康診査、来所及び電話による相談等の場面で把握した要支援家庭についてはこども家庭担当と情報共有し、早期介入を行った。                                                                                                                                                                        |

| NO. | 施策目標 | 事務事業                 | 担当課    | 事業概要                                                       | 指標項目 | R2実績値 | R3実績値 | R4実績値 | R5実績値 | R6目標値 | R5実施状況(現状と課題、実現性等)                                                                                                                              |
|-----|------|----------------------|--------|------------------------------------------------------------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 50  |      | 「要保護児童対策連絡協議会」の設置・運営 | こども応援課 | 児童虐待に効果的に対応するため、「要保護児童対策地域協議会」を継続して設置し運営します。               | -    | -     | -     | -     | -     | -     | ○庁内の関係所属の所属長及び関係機関で構成する代表者会議<br>○児童連絡会議や児童相談所連絡会議、学校等との情報交換会等の実務者会議<br>○個別のケースについてのケース会議<br>【令和5年度 開催回数】<br>代表者会議 1回<br>実務者会議 150回<br>ケース会議 52回 |
| 51  |      | 適応指導教室の充実            | 教育指導室  | 適応指導教室では、登校できない状況にある児童生徒に対し、適切なケアや指導、助言を行えるよう、指導力の充実に努めます。 | -    | -     | -     | -     | -     | -     | ●市教育サポートセンターの立ち上げに係り、適応指導教室の学習活動内容の見直しや相談体制の構築を図り、適応指導教室の充実に取り組んだ。<br>●児童・生徒または保護者と相談・面談を行い、状況に応じた支援やケアを図るとともに、児童・生徒の社会的自立を目指して取り組んだ。           |

基本施策(2) 子どもの個性と可能性を伸ばす教育を進める

|    |                |                          |               |                                                                                                   |                   |                  |                  |                  |                  |                  |                                                                                                                                                                                          |
|----|----------------|--------------------------|---------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 52 | 1.就学前の保育・教育の充実 | 就学前教育に係る職員研修の実施          | 子育て支援課(中央保育所) | 教員・保育士としての意識と技術を高め、質の高い就学前教育・保育を行うため、各施設内外での研修の積極的な参加と実施を推進します。                                   | 外部研修参加回数          | 1人2回以上           | 1人2回以上           | 年2回              | 年2回              | 年2回              | 福岡県保育講座を全職員オンラインで受講したり、夏の芸術学校やにじいろでの研修、メイトサマースクール等の各業者が開催する研修に参加した。<br>内容は、支援の必要な子に対する支援方法や運動遊び、楽器遊びなどの音楽研修、保護者支援と多岐にわたって研鑽に努めた。                                                         |
|    |                |                          | 子育て支援課(幼稚園)   |                                                                                                   |                   | 1人2回以上           | 1人4回以上           | 1人4回以上           | 1人4回以上           | 1人1回以上           | 全国国立幼稚園・こども園教育研究協議会福岡大会、福岡県幼稚園教育課程協議会、国公立私立幼稚園園長・職員人権教育研修会をはじめ、多くの外部研修に参加した。質が高い保育ができるよう、積極的に研修に参加し、自己研鑽に努めた。                                                                            |
|    |                | 幼稚園運営検討・研修の実施            | 子育て支援課(幼稚園)   | 園児の就園状況の推移や職員の配置状況を見定めながら、今後の幼稚園運営の在り方を検討するとともに、園の教育目標達成に向けて園長・主任会研修を実施します。                       | 研修会開催回数           | 年13回             | 年13回             | 年12回             | 年12回以上           | 年12回以上           | 年間計画に沿って、教育課程、指導計画、テーマ研究の研修を行った。園の目標を共通認識しながら、幼児期にふさわしい保育のあり方を考え、日々の実践につなげていった。                                                                                                          |
| 54 |                | 施設の整備促進                  | 子育て支援課(中央保育所) | 保育所や幼稚園の施設の不具合によってケガや事故が発生しないよう、定期的な施設の整備や点検を実施します。また、保育中の事故が発生しないよう、事故防止に関する職員研修等を実施します。         | 点検回数              | 事故防止の会議 年1回、毎日点検 | 事故防止の会議 年1回、毎日点検 | 事故防止の会議 年1回、毎日点検 | 事故防止の会議 年1回、毎日点検 | 事故防止の会議 年1回、毎日点検 | 園庭の遊具については、担当を決め毎日点検を行った。業者による安全点検も年1回行い、不具合の箇所については、修理を行った。<br>園内の事故やヒヤリハットについて協議する危機管理の委員会を立ち上げ、安全について考え、会議の内容が深まった。                                                                   |
|    |                |                          | 子育て支援課        |                                                                                                   | 遊具の点検回数           | 2回               | 2回               | 3回               | 3回               | 2回               | ●遊具施設点検業務を委託し、中央保育所はR3新設であり、遊具も比較的新しいことから、保守点検を年1回、岩戸幼稚園は年2回実施した。<br>●年1～2回の遊具施設保守点検結果に基づき、遊具等の修繕を行い、事故の未然防止に努めた。                                                                        |
| 55 |                | 私立保育所の施設整備に対する支援         | 子育て支援課        | 認可私立保育所においても、安全な保育環境の維持ができるよう、必要に応じて施設整備に対する支援を行います。                                              | -                 | -                | -                | -                | -                | -                | 令和5年度中は、施設整備に関する具体的な要望はなかった。<br>なお、那珂の森保育園から相談があったものの、詳細な希望はなかった。                                                                                                                        |
| 56 | 2.学校教育の充実      | 基礎学力指導の徹底                | 教育指導室         | 「確かな学力」と「生きる力」を育むため、基礎学力の定着に向けた教科学習を就学时より徹底していきます。                                                | -                 | -                | -                | -                | -                | -                | ●ICT機器の効果的活用により授業改善を行った。<br>「なかがわスタンダード」に基づく「学習基盤づくり」「『教えて考えさせる』授業づくり」<br>●市主催のICT教育に関する研修を充実させた。<br>●研究指定校(モデル校)等による実践・普及に取り組んだ。                                                        |
| 57 |                | 学校外活動の推進                 | 学校教育課         | 子ども達が地域や自然に触れ、豊かな情操を育むとともに、人々とのふれあいの中から社会性を学び仲間づくりができるよう、学校外での教育活動の実施を推進します。                      | 宿泊を伴う校外活動の実施校数    | 7校               | 9校               | 10校              | 10校              | 10校              | 小・中学校で自然教室・修学旅行等の宿泊を伴う校外活動を実施した。                                                                                                                                                         |
| 58 |                | 学校における授業研修体制の確立          | 教育指導室         | 教員の資質を高めるため、各教科、道德科、外国語活動、総合的な学習に対する定期的な校内研修や研究発表会等を実施します。                                        | 小中学校授業改善研究会の開催校数  | 1校のみオンライン        | 2校               | 2校               | 2校               | 2校               | ●安徳北小・那珂川中学校の福岡県重点課題研究発表会を那珂川市授業改善公開授業研修と兼ねて実施した。各学校の校内研修については、外部から講師を招聘し、専門的な知見から実施することができた。<br>●各学校で計画的に実施できた。                                                                         |
| 59 |                | 総合的な学習の推進                | 教育指導室         | 変化の激しい社会に対応して、自ら課題を見つけ、自ら学び考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てることに主眼を置いた教育を行うため、小中学校での、総合的な学習の充実に努めます。 | -                 | -                | -                | -                | -                | -                | ●小学校ではプログラミング教育を行い、ロボットや自動車の模型を動かしたり、イルミネーションを光らせたり、リズムづくり等を行ったりした。<br>●中学校では感染症等の影響で職場体験は一部実施できなかったが、高等学校1日体験やICT機器を活用して調べ学習などの充実を図った。<br>●小中学校ともに、ゲストティーチャーを招いて、小集団や遠隔地とオンラインでの学習を行った。 |
| 60 |                | 地域運営学校(コミュニティスクール)の導入・実施 | 学校教育課         | 市内全小中学校で実施されている学校運営協議会において、地域と保護者も参画した学校運営の充実に努めます。                                               | -                 | -                | -                | -                | -                | -                | 小・中学校において、学校・保護者・地域関係者が学校運営に参画することで、それぞれの学校の特色を活かした学校運営協議会を実施することができた。                                                                                                                   |
| 61 |                | 地域人材活用による教育支援の充実         | 学校教育課         | 市内小・中学校におけるボランティア活用による教育の充実に一層努め、地域に開かれ、地域と共に進める教育のさらなる充実に努めます。                                   | 学力アップ地域人材活用事業実施校数 | 0校               | 1校               | 1校               | 4校               | 10校              | R5年度において、学力アップ地域人材活動事業を実施した学校は10校中4校であり、R4年度の10校中1校に比べ増加したものの、これまでコロナ禍の影響により長期未実施だったこともあり、全校での実施には至っていない。                                                                                |
| 62 |                | 学校施設の改善                  | 教育総務課         | ゆとりある教育環境をつくるため、児童生徒数や学級に応じ施設の整備を行います。                                                            | -                 | -                | -                | -                | -                | -                | 岩戸北小学校において学級数増加に対応するため、使用しなくなったコンピュータ室を普通教室に改修した。<br>その他学級数が増えた学校については、転換可能な教室を普通教室に充てること等で対応した。                                                                                         |

| NO. | 施策目標       | 事務事業     | 担当課               | 事業概要                                                                         | 指標項目           | R2実績値 | R3実績値 | R4実績値 | R5実績値 | R6目標値 | R5実施状況(現状と課題、実現性等)                                                                                                                |
|-----|------------|----------|-------------------|------------------------------------------------------------------------------|----------------|-------|-------|-------|-------|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 63  | 3.保幼小の連携強化 | 保幼小連携の推進 | 子育て支援課<br>(中央保育所) | 保育所や幼稚園での就学前教育や保育の資質向上を図るとともに、小学校への円滑な就学を支援するため、保育所・幼稚園・小学校間において情報交流などを行います。 | 保・幼・小連絡会<br>開催 | 年1回   | 年0回   | 年3回   | 年2回   | 年2回   | 保育所・幼稚園・小学校の交流会が開催され、卒園児の様子をみることができた。また、情報交換会や保幼小合同での研修もあり幼稚園の先生方とも交流することができた。                                                    |
|     |            |          | 子育て支援課<br>(幼稚園)   |                                                                              |                | 年1回   | 年0回   | 年3回   | 年2回   | 年3回   | 保幼小連絡会において、保幼小合同での研修会や、入学児の情報を引き継ぐ情報交換を行った。今年度は、就学した子どもたちについての情報交換の場がなかった。保幼小連絡会が、保幼小で互いの教育を理解し、子どもたちの学びをつないでいく連携を考えていく場にはなっていない。 |

| NO.                       | 施策目標                         | 事務事業                 | 担当課     | 事業概要                                                                                     | 指標項目                         | R2実績値 | R3実績値 | R4実績値 | R5実績値 | R6目標値 | R5実施状況(現状と課題、実現性等)                                                                                                                                                        |
|---------------------------|------------------------------|----------------------|---------|------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 基本施策(3) 障がいのある子どもの成長を支援する |                              |                      |         |                                                                                          |                              |       |       |       |       |       |                                                                                                                                                                           |
| 64                        | 1.障がいのある子どもがいる家庭に対する相談体制等の構築 | ケース検討会議の開催           | こども応援課  | 保健・福祉・教育等の関係各課が連携し、問題の早期発見から就学前の一貫した相談・支援を行うため「ケース検討会議」を開催します。                           | -                            | -     | -     | -     | -     | -     | 庁内の関係所属をはじめ、学校や病院等の対象者が関係する支援機関が連携する会議を実施し、状況把握や援助方針、役割分担等を行った。<br>【令和5年度 実施回数】<br>ケース会議 31回(個別でのケース検討会議52回のうち、障がいをもつ子どももしくは保護者に関わる回数)                                    |
|                           |                              |                      | 障がい者支援課 |                                                                                          |                              | -     | -     | -     | -     | -     | 個々のケースに応じて、必要な支援を行うため関係各課と連携してケース会議を行った。<br>ケース会議の回数:10回                                                                                                                  |
| 65                        |                              | 保護者団体等への支援           | 障がい者支援課 | 障がいのある子どもとその保護者が日常的に様々な活動ができるよう、保護者などで組織する任意団体に対する支援を行います。                               | -                            | -     | -     | -     | -     | -     | 障がいのある子どもとその保護者などの社会参画を図ることを目的とした団体への助成金を交付するなどして、活動を支援した。<br>【R5団体】<br>こどもの発達を考える親の会のぞみ 38,000円<br>キャンパス 50,000円<br>NPO法人おると 50,000円                                     |
| 66                        |                              | 療育指導等の充実             | 子育て支援課  | 療育センターにじいるキッズにおいて、療育が必要な子どもの成長を支援するため、療育に関する相談や療育指導等の充実を図ります。                            | -                            | -     | -     | -     | -     | -     | 令和5年度 療育センターにじいるキッズ 利用状況<br>延べ実数<br>個別療育 653人 507人<br>グループ療育 746人 534人<br>巡回相談 475人 379人<br>コンサルテーション 58人 54人                                                             |
| 67                        |                              | 特別児童扶養手当の紹介・受付       | こども応援課  | 特別児童扶養手当法に基づく経済的支援を通じて障がい児をもつ世帯等を支援します。                                                  | -                            | -     | -     | -     | -     | -     | 制度案内・相談や申請受付を行った。<br>また、年度更新の手続きについても対面で全受給資格者に対し、行った。<br>(R6.3.31末時点)<br>受給者 153人<br>停止者 9人                                                                              |
| 68                        |                              | 重度障害者医療費助成の実施        | 市民課     | 重度の障がい児の保健の向上と福祉の増進、経済的負担を軽減するため、医療費の助成を行います。                                            | -                            | -     | -     | -     | -     | -     | 医療費助成額 55,298,519円(後期高齢者分除く医療費助成全額)<br>助成件数 8,016件(後期高齢者分除く全件数)                                                                                                           |
| 69                        | 2.障がいのある子どもへの福祉サービスの充実       | 障がい児機能回復訓練教室の開催      | 障がい者支援課 | 障がい児の健康維持・増進及び機能向上を支援するため、水中運動やレクリエーションを取り入れたプール教室を開催します。                                | -                            | -     | -     | -     | -     | -     | 障がい児が、基本的な水泳技術(呼吸法、立ち方、浮き身等)を習得するとともに、障がい児の健康維持・増進及び機能の向上を図るため、プール教室を開催した。<br>ホームページの活用や関係機関と連携して、周知を図る必要がある。                                                             |
| 70                        |                              | 障害福祉サービス等の普及         | 障がい者支援課 | 障がい児の日常生活を支援するため、短期入所(ショートステイ)、居宅介護(ホームヘルプ)、移動支援、日中一時支援、放課後等デイサービス、通所支援などに関する情報提供を充実します。 | -                            | -     | -     | -     | -     | -     | 障害者手帳の交付時や、窓口での相談時に障害福祉サービス等の制度の説明を行うことで情報提供の充実に努めた。<br>適宜ホームページの更新や広報誌への掲載を行うことで、更なる情報提供の充実を図ることが必要である。                                                                  |
| 71                        |                              | 身体障がい児補装具費の給付        | 障がい者支援課 | 身体障がい児をもつ世帯の経済的負担を軽減するため、補装具購入及び修理に関する費用の給付を行います。                                        | -                            | -     | -     | -     | -     | -     | 障害者総合支援法により定められた品目(車椅子、補聴器等)を、対象となる障がい児の世帯に給付した。<br>【R5障がい児補装具給付実人数】<br>6人<br>【R5障がい児補装具給付件数】<br>15件(下肢装具2件 補聴器4件 眼鏡1件 車椅子4件 座位保持装置3件 座位保持いす1件)                           |
| 72                        |                              | 障がい児日常生活用具費の給付       | 障がい者支援課 | 障がい児をもつ世帯の経済的負担を軽減するため、日常生活用具購入に関する費用の給付を行います。                                           | -                            | -     | -     | -     | -     | -     | 那珂川市障害者日常生活用具給付事業実施要綱に定められた品目を、対象となる障がい児の世帯に給付した。<br>【R5障がい児日常生活用具給付実人数】<br>9人<br>【R5障がい児日常生活用具給付件数】<br>55件(ストーマ用装具蓄便袋4件 ストーマ装具代替品(紙おむつ)46件 ネブライザー2件 電気式たん吸引器1件、訓練用ベッド1件) |
| 73                        | 3.障がいのある子どもに対する保育・教育の充実      | 障がい児保育・教育の推進         | 子育て支援課  | 障がいのある乳幼児が、保育所や幼稚園、学童保育所などに支障なく入所(園)できるよう、保育士や教員を加配できる制度を整備します。【障がい児保育事業費補助】             | -                            | -     | -     | -     | -     | -     | ●私立保育施設 障害児保育事業費補助金:2園、対象児童:3人、加配職員:3人                                                                                                                                    |
| 74                        |                              | 障がい児の一般学級への受け入れ促進    | 子育て支援課  | 障がいや個性のある乳幼児も普通に保育所や幼稚園に入園ができるよう、保育士や教諭の加配を行い、受入体制を整えます。                                 | -                            | -     | -     | -     | -     | -     | ●中央保育所 加配保育士:7人<br>●岩戸幼稚園 特別支援教育支援員:1人<br>特別支援教育専任講師:1人                                                                                                                   |
| 75                        |                              | 学童保育所指導員を対象にした研修会の実施 | 子育て支援課  | 学童保育所における障がい児保育の資質を向上するため、指導員研修会を実施します。                                                  | 研修会の開催数                      | 2回    | 2回    | 1回    | 1回    | 1回    | 指定管理者において、支援員を対象とした研修を行った。                                                                                                                                                |
| 76                        |                              | 特別支援学級の充実            | 学校教育課   | 特別な支援が必要な児童・生徒への教育及び支援を行うため、小中学校に特別支援学級及び通級指導教室の充実を図っていきます。                              | 特別支援学級及び通級指導教室への就学希望者が就学した割合 | 100%  | 100%  | 100%  | 100%  | 100%  | 小中学校全校に特別支援学級を設置しており、児童生徒の障害や特性に応じて個別の教育支援計画や個別の指導計画に基づいた指導や支援を実施している。また、岩戸小学校、岩戸北小学校、安徳小学校、那珂川中学校に通級指導教室を設置し、特別な教育的ニーズを必要とする児童生徒の教育を行っている。                               |

| NO. | 施策目標 | 事務事業              | 担当課           | 事業概要                                                                 | 指標項目   | R2実績値 | R3実績値 | R4実績値 | R5実績値 | R6目標値 | R5実施状況(現状と課題、実現性等)                                        |
|-----|------|-------------------|---------------|----------------------------------------------------------------------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-----------------------------------------------------------|
| 77  |      | 障がい児保育に関する職員研修の充実 | 学校教育課         | 障がいに応じた保育や教育ができるよう、障がい児保育や教育に関する研修への保育士や教諭の参加を促進します。                 | 研修参加者数 | 20人   | 30人   | 55人   | 40人   | 20人   | 令和5年度において、特別支援教育コーディネーター研修会を3回実施し、各校から計40人の参加があった。        |
|     |      |                   | 子育て支援課(中央保育所) |                                                                      |        | 6人    | 2人    | 7人    | 18人   | 15人   | にじいろキッズでの「ことばの育ち」やWEB講座を活用して正職だけではなく、会計年度職員にも幅広く学ぶことができた。 |
| 78  |      | 障がい児保育の環境改善       | 教育総務課         | 障がいを持つ子どもも支障なく移動でき安全に過ごせるよう、施設の改善を行います。また、民間施設へのユニバーサルデザインの周知を徹底します。 | -      | -     | -     | -     | -     | -     | 那珂川南中学校において、エレベーター及びバリアフリートイレの工事を実施した。                    |

基本施策(4) 地域での体験や活動ができる環境をつくる

|    |                   |                   |                                                             |                                                                        |                  |    |     |     |      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|----|-------------------|-------------------|-------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------|------------------|----|-----|-----|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 79 | 1.地域での体験活動の充実     | 歴史体験学習の実施         | 文化振興課                                                       | 先人の知恵や技術を学び歴史に対する理解を促すために、草木染めや勾玉づくりなど古代の技術を学ぶ体験学習を実施していきます。           | 古代技術の体験学習実施回数    | 1回 | 3回  | 7回  | 7回   | 5回                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 歴史体験学習は、古代人の生活と様々な工夫の一端を追体験することで、先人の知恵と技術を学び、また自然保護や相互協力の大切さを学ぶことを目的として、「古代の草木染め」と「まが玉づくり」を実施している。草木染めは9:00～14:30、まが玉づくりは午前(9:00～12:30)・午後(13:30～17:00)の1日2回開催している。<br>また、まが玉づくりでは、勉強会の中で実際に出土した遺物に触る体験をさせた。本当に土の中から掘り出されたものであること、千何百年も前のもので壊れやすいことを説明し、子どもたちの郷土の歴史や文化財、発掘調査などへの興味を引き出そうと試みた。<br>・古代の草木染め 1回実施／全1回(定員20人) 14人参加<br>・まが玉づくり 6回実施／全6回(各回15人) 60人参加 |
| 80 |                   | 伝統行事を取り入れた保育行事の実施 | 子育て支援課(中央保育所)                                               | 郷土に対する愛着の心を育むため、地域の伝統行事を取り入れた保育を推進します。【どんど焼き・もぐら打ち】【もちつき】【七夕まつり】       | 取り入れた地域行事数       | 1回 | 1回  | 1回  | 4回   | 3回                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | コロナ禍を経てお年寄りとの交流が難しくなってしまったところがある。その中で、しめ縄つくりと那珂川吹奏楽団の演奏会は継続して続けていくことができている。また、九州場所では那珂川に部屋を構えたお相撲さんと交流をすることもできた。消防の出初式のアトラクションとして5歳児が参加し踊りを披露したり、非行防止パレードにてゴール地点の博多南駅にて鼓笛隊を披露することもできた。                                                                                                                                                                           |
| 81 |                   | 体験型プログラムの実施       | こども応援課                                                      | 子どもたちの豊かな人間性と、自ら考え、学ぶ力を育てていくため、ふれあいこども館及び児童館で小学生を対象にした体験型プログラム等を実施します。 | 体験型プログラムの実施数     | 4回 | 13回 | 30回 | 28回  | 54回                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 実施回数<br>昔遊び寺子屋 6回<br>さきおり体験 2回<br>さんさんサンデー 12回<br>夏休みプログラム(スノードーム・きもだめし・お手玉遊び・プラバン作り、絵本カバーバック作り) 5回<br>プログラミング体験 2回<br>キッズメイク体験 1回                                                                                                                                                                                                                               |
|    |                   |                   | 人権政策課                                                       |                                                                        | 児童館企画・クラブの実施数    | 7回 | 17回 | 18回 | 23回  | 20回                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | ○児童館クラブ<br>開催回数:17回<br>参加者数: 312人<br>○児童館特別企画(こどもまつりを除く)<br>開催回数:6回<br>参加者数:150人                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 82 |                   | 高齢者などとの異世代交流保育の実施 | 子育て支援課(中央保育所)                                               | 様々な人とのふれあいによって、豊かな心を育むため、老人福祉施設への訪問など、認可保育所における異世代交流の実施を推進します。         | 交流回数             | 1回 | 1回  | 1回  | 1回   | 1回                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | しめ縄作りにおいて、地域のしめ縄名人から藁を編むところから教えてもらい、親子で飾ることを楽しみにしながら、作りあげることができた。<br>老人施設の訪問がコロナ禍を経て難しくなっている。                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 83 |                   | 中学生との交流イベントの開催    | 学校教育課                                                       | 中学生が人を思いやる優しい心を育むため、また、園児が人とのふれあいの機会を広げるため、中学生と園児の交流を実施します。            | 中学生の保育所職場体験の実施回数 | 0回 | 0回  | 0回  | 0～1回 | 1回                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | R5年度において、中学生の幼稚園等の職場体験を実施した学校は3校中1校であり、R4年度の3校中0校に比べ増加したものの、これまでコロナ禍の影響により長期未実施だったこともあり、全校での実施には至っていない。                                                                                                                                                                                                                                                          |
|    |                   |                   | 子育て支援課(中央保育所)                                               |                                                                        |                  | 0回 | 0回  | 0回  | 2回   | 1回                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 那珂川中学校の授業での衣服プロジェクトに関わった。また、那珂川北中学校のボランティアによる「3びきのこぶた」の劇を観劇して、中学生との交流を実施することができた。                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 84 | ジュニアボランティアスタッフの育成 | こども応援課            | ふれあいこども館の様々な取り組みの中で異世代交流を実施します。                             | -                                                                      | -                | -  | -   | -   | -    | 中高生のジュニアボランティアに対しては、年度当初に言葉遣いや服装面でのマナー、スマートフォンでの撮影禁止、ライン使用上の注意など、丁寧に説明し指導している。<br>活動としては、こども文化祭の準備や当日の担当、夏休みプログラムの補助、昔遊び寺子屋参加児童への支援、イルミネーション設営などを職員と一緒にを行った。<br>毎月実施している「さんさんサンデー」では、小中学生と一緒に遊んだり、見守りしたり活躍していた。<br>ボランティア活動に関して、学業が一番、無理のないように活動するように言葉かけを行い、活動後はノートに活動内容や反省を書くノートを準備し、職員が必ずコメントを入れるようにしている。 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 85 | おはなし会の実施          | 人権政策課             | 乳幼児の読書に対する興味を深め、想像力を豊かにするため、乳幼児とその保護者を対象にした、おはなし会の実施を支援します。 | おはなし会の実施回数                                                             | 8回               | 7回 | 10回 | 10回 | 12回  | ○おはなし会<br>実施回数:10回実施。<br>参加者:212人<br>事業状況:対象年齢は0歳～4歳児を対象に、季節に合わせた絵本の読み聞かせ、ハンカチ遊び、わらべうたなどを行う。                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |

| NO. | 施策目標         | 事務事業                    | 担当課    | 事業概要                                                                                | 指標項目            | R2実績値 | R3実績値 | R4実績値 | R5実績値 | R6目標値 | R5実施状況(現状と課題、実現性等)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|-----|--------------|-------------------------|--------|-------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 86  | 2.活動の場と人材の確保 | 読書相談等業務の充実              | 文化振興課  | 子どもが利用しやすい図書館とするため、読書相談や検索システムなどの体制を充実させます。                                         | -               | -     | -     | -     | -     | -     | 〈実施状況〉<br>令和5年度は、リニューアル工事に伴う休館で本来の図書館を利用できないため、本を届ける出張図書館や学童保育所への本の配送サービスの実施、新刊本などを中心に直接資料が借りられるミニ図書館の開館、借りられる資料の選択肢を増やすため貸出セットのセット数を増やすなど、読書活動が途切れないような対策をした。<br>・児童担当者が月1回司書部会へ参加し、情報交換等を行った。<br>・市内公民館への団体貸出(2か月に1回、250冊)に加え、各公民館でテーマ展示を2か月毎に実施した。<br>・本の情報誌「本のさんぽみち」令和5年度限定で“0歳から小学生とその保護者向け”を発行した。<br>・昨年度に引き続き、電子図書館の児童書の充実を図った。<br>・改修工事に伴う休館のため、令和5年度限定で那珂川市内の各学童保育所向けに選書と配送サービスを行った。<br>〈実績〉<br>①学校貸出図書セット…読書支援セット20回貸出、教科支援セット6回貸出、令和5年限定セット1回貸出<br>合計貸出冊数940冊<br>②団体貸出…公立公民館への2か月に1回の貸出をはじめ、ミニ図書館で幼稚園や小中学校等の教育機関や読書活動推進団体等へ貸出した。 59団体 延べ利用回数360回 13,576冊貸出<br>③おはなし会…赤ちゃん対象(ふれあいこども館) 8回 子ども105人 大人93人<br>幼児～小学校低学年対象(ミリカローデン那珂川内)7回 子ども93人 大人36人<br>小学校高学年対象(ふれあいこども館) 2回 子ども35人 大人4人<br>④職員派遣…すくすくブックタイム ふれあいこども館 17回(延べ34人派遣)、<br>他幼保育園小中学校等に9回 16名派遣<br>〈課題〉<br>・図書館休館による児童の図書館利用低下があるので、リニューアルオープン後に各施設にサービス内容や施設案内などを確実にやっていく。 |
| 87  |              | 図書の定期的入れ替え              | 文化振興課  | 地区公民館の図書室を充実したものにするため、市立図書館からの図書の借り受けを行います。                                         | 図書の入替え回数        | 5回    | 6回    | 4回    | 6回    | 6回    | ○那珂川市図書館から2か月に1回250冊を借り受け、北地区公民館図書室→中央公民館図書コーナー→南地区公民館図書室のサイクルで、図書の入替を行った。<br>【作業】書籍250冊の選書を那珂川市図書館に依頼(団体貸出扱い)、依頼翌月に書籍を移動                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 88  |              | 児童館主催事業等への講師の派遣         | 文化振興課  | 児童館及び各区公民館、子ども会等主催事業への講師派遣を実施します。                                                   | -               | -     | -     | -     | -     | -     | 各学校や各種団体の依頼を受け、講師派遣を実施した。<br>①わかば学級 裂田溝、安徳台、現人神社見学<br>②片縄小学校 内田遺跡群現場見学<br>③人権センター まが玉つくり<br>④片縄小学校 丸ノ口古墳群現地見学<br>⑤安徳小学校 「まちたんけん」学習協力<br>⑥わかば学級 まが玉つくり<br>⑦片縄小学校 昔の道具ワークショップ                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 89  |              | ふれあいこども館、市立公民館との連携      | こども応援課 | 子育てサークルが活動しやすい環境をつくるため、ふれあいこども館と市立公民館が連携し、活動の場の提供や事業参加を促進します。                       | サークル数           | 2団体   | 4団体   | 3団体   | 4団体   | 5団体   | サークル登録の周知は、ホームページで行っている。R5年度は市民文化祭の折に、ふれあいこども館で「こども文化祭」を開催し、各子育てサークルの活動を写真や作品を掲示することで紹介した。<br>サークル活動の充実を図るために、ふれあいこども館のおもちゃや絵本を貸し出したり、保育士である職員が活動へのアドバイスを行った。<br>各サークルは基本毎月1回活動しているが、活動希望日が重なると部屋の数に限りがあり調整が必要となった。<br>手続きをとると、市立公民館の使用料全額免除となるが、ふれあいこども館の子育てサークルはふれあいこども館内での活動を希望し、市立公民館を活用していない。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 90  | 子どもの遊び場の確保   | 子どもの遊び場の確保              | 人権政策課  | ふれあいこども館及び児童館を子どもが安心して遊べる場として、提供します。                                                | -               | -     | -     | -     | -     | -     | 来館者内訳<br>乳幼児:1,563人<br>小学生:10,065人<br>中学生:360人<br>高校生:44人<br>大人:1,511人                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|     |              |                         | こども応援課 |                                                                                     |                 | -     | -     | -     | -     | -     | 開館日数 303日<br>来館者数 13,180人<br>内訳<br>小学生 9,004人<br>中高生 4,176人<br>小学生の利用は9時～17時。中高生の利用は9時～18時半<br>乳幼児が利用している15時半までは、2階「かとれあ」の部屋で遊んでいるが、15時40分からは1階のホールでも遊ぶことができるようにしている。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 91  | リーダー養成事業の実施  | リーダー養成事業の実施             | 社会教育課  | 将来の地域活動の担い手を育成するため、団体が実施する小中学生リーダー育成事業の支援を行います。                                     | -               | -     | -     | -     | -     | -     | ●レクリエーション交流会:1回実施(12人参加)<br>那珂川市子ども会育成会連絡協議会の主催で小学5,6年生を対象とした交流会を実施した。コロナ、インフルエンザの流行により1回が中止になるなど、参加者が思うように増えなかったが、子ども会で使えるレクリエーションの方法を学ぶ交流会を実施できた。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 92  |              | 那珂川市ボランティア支援センター講座の実施   | 総務課    | ボランティア・NPO団体等の活動を支援することにより、協働のまちづくりのパートナーの育成を図る講座を実施します。<br>【ジュニアボランティア講座】【子育て応援講座】 | 子ども・子育て支援等講座の種類 | 0テーマ  | 1テーマ  | 1テーマ  | 1テーマ  | 2テーマ  | 令和5年8月2日、3日、4日の3日間、「夏休みジュニアボランティア体験」を実施し、2日、3日は11名、4日は12名が参加。<br>環境をテーマにエコピア・なかがわの見学や市の出前講座を利用した環境課からの講座等を実施した。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 93  |              | ボランティア・NPO団体等のコーディネート促進 | 総務課    | ボランティア・NPO団体等の活動を支援し、地域の人を支え・交流をもてるよう、コーディネートを促進します。                                | -               | -     | -     | -     | -     | -     | ●コロナ禍を経て、団体がいつでも情報共有等を行えるよう、団体活動応援講座として「スマートフォン活用講座」を開催(9名)。開催の結果、これまで対面でしか情報共有していなかったが、LINE等のSNSを活用しタイムリーに情報共有をする団体も出てきた。また、書類の提出や日程調整等もメールを活用したやり取りが増え、効率的に連絡が来ている。<br>●ボランティア登録(団体:42団体、個人:34名)<br>●ボランティアニード調整数(24件)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |

| NO.                         | 施策目標        | 事務事業           | 担当課   | 事業概要                                                  | 指標項目    | R2実績値 | R3実績値 | R4実績値 | R5実績値 | R6目標値 | R5実施状況(現状と課題、実現性等)                                                                |
|-----------------------------|-------------|----------------|-------|-------------------------------------------------------|---------|-------|-------|-------|-------|-------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| 基本目標 3 子育て家庭を支えるための地域づくりの推進 |             |                |       |                                                       |         |       |       |       |       |       |                                                                                   |
| 基本施策(1) 男女がともに子育てできる環境をつくる  |             |                |       |                                                       |         |       |       |       |       |       |                                                                                   |
| 94                          | 1.男女共同参画の推進 | 男女共同参画プランの進行管理 | 人権政策課 | 進行状況については公表するとともに、男女共同参画審議会で内容の検証を行うことで、プランの推進につなげます。 | プランの進捗率 | 88%   | 84%   | 92%   | 94%   | 96%   | 男女共同参画プラン(後期基本計画)の推進状況報告書を審議会へ報告した。審議会での意見等を関係課へフィードバックし、計画の推進を図った。<br>審議会開催回数 4回 |

| NO. | 施策目標          | 事務事業            | 担当課    | 事業概要                                    | 指標項目         | R2実績値     | R3実績値     | R4実績値       | R5実績値       | R6目標値       | R5実施状況(現状と課題、実現性等)                                                                                                                                                                                  |
|-----|---------------|-----------------|--------|-----------------------------------------|--------------|-----------|-----------|-------------|-------------|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 95  |               | 男女共同参画啓発冊子の発行   | 人権政策課  | 男女共同参画の啓発及び意識の普及のために、冊子の各戸配布を継続して実施します。 | 冊子の発行回数      | 0回        | 1回        | 1回          | 1回          | 1回          | ○パートナー21第17号<br>特集:「ジェンダー平等」と「SDGs」について考えてみよう<br>作成数:7,000部<br>概要:これまで小学生・中学生を対象とした、ジェンダー平等に関する啓発冊子がなかったことを踏まえ、那珂川市男女共同参画プランに基づき、小中学校での活用を企図する啓発冊子を作成した。効果的な啓発のため、各戸配布ではなく、小中学校の児童・生徒及び教職員を中心に配布した。 |
| 96  | 2.男性の子育て参加の促進 | 男性が子育てに関わる機会の提供 | こども応援課 | 男性の子育て参加を推進するため、男性を対象とした催しなどを行います。      | 実施回数<br>参加者数 | 5回<br>37人 | 5回<br>70人 | 24回<br>338人 | 22回<br>560人 | 18回<br>750人 | プレパパママ講座 6回 90人<br>赤ちゃんとパパママの集い 6回 97人<br>サンデーあそび 9回 362人<br>はじめまして広場 1回 11人 ※キャンプ用テントの設置方法などを学ぶ集い<br>日頃から、来館者された保護者に男性がいた場合は、できるだけ職員が話しかけ、子育てへの労をねぎらったり、子育てへの参加を促したりしている。                          |
|     |               |                 | 人権政策課  |                                         | -            | -         | -         | -           | -           | -           | 男女共同参画講座での男性の子育てに関する講座を計画をしていたが、未実施となった。                                                                                                                                                            |

基本施策(2) 子育てと仕事の両立を支援する

|     |                 |               |        |                                                                                                                    |                  |        |        |        |        |        |                                                                                                                                                                                                                                                        |
|-----|-----------------|---------------|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 97  | 1.多様な保育サービスへの対応 | 認可保育所による保育の実施 | 子育て支援課 | 保護者が仕事や病気などで保育できない乳幼児を保育するために、認可保育所による保育環境を提供します。                                                                  | 定員               | 1,218人 | 1,228人 | 1,354人 | 1,354人 | 1,368人 | 【令和5年度定員】<br>●認可保育所<br>中央保育所:200人、青葉保育園:165人、那珂の森保育園:120人、青葉桐の花保育園:180人<br>なかがわ保育園:180人、那珂川道善コスモス保育園:200人<br>●認定こども園(保育部分)<br>パティススポーツ幼稚園博多南校:40人、那珂川第一幼稚園:75人<br>福岡ビノキオこども園:111人、南畑ビノキオ森のこども園:45人<br>●小規模保育事業所<br>第二なかがわ保育園:19人、那珂川片縄コスモス保育園:19人      |
| 98  |                 | 待機児童のない施設環境整備 | 子育て支援課 | 認可保育所における待機児童をなくすため、利用者ニーズを把握しながら保育定員の拡充を図ります。保育施設の新設、増築などの施設整備に対する支援等を行います。                                       | 4月1日の待機児童数       | 40人    | 4人     | 0人     | 0人     | 0人     | 令和5年4月待機児童数:0人                                                                                                                                                                                                                                         |
| 99  |                 | 保育時間の拡大       | 子育て支援課 | 認可保育所において、通常保育外の時間帯の保育を保護者ニーズを踏まえて実施します。【延長保育事業】                                                                   | 保育時間             | 12時間   | 12時間   | 12時間   | 12時間   | 12時間   | 認可保育施設における保育時間:7時から19時まで(18時から19時まででは延長保育)<br>施設名 利用延べ人数<br>青葉保育園 768人<br>那珂の森保育園 637人<br>青葉桐の花保育園 766人<br>なかがわ保育園 358人<br>那珂川道善コスモス保育園 616人<br>那珂川第一幼稚園 66人<br>福岡ビノキオこども園 294人<br>南畑ビノキオ森のこども園 180人<br>第二なかがわ保育園 45人<br>那珂川片縄コスモス保育園 91人<br>合計 3,821人 |
| 100 |                 | 休日保育の実施検討     | 子育て支援課 | 認可保育所における日曜日や休日の保育について、ニーズを踏まえて検討を行います。                                                                            | 実施施設数            | 0施設    | 0施設    | 0施設    | 0施設    | 1施設    | 認可保育所における日曜日や休日の保育については、保護者から要望がなかったため、令和5年度に実施した施設はなかった。                                                                                                                                                                                              |
| 101 |                 | 子育て短期支援事業の実施  | こども応援課 | 保護者の疾病や仕事等により児童の養育が一時的に困難となった場合、または育児不安や育児疲れ等の身体的・精神的負担の軽減が必要となった場合に、児童を児童養育施設等で一時的に預かる子育て短期支援事業(ショートステイ事業)を実施します。 | -                | -      | -      | -      | -      | -      | 【令和5年度の利用状況】<br>3件 のべ5日<br>令和5年8月からは福岡県が認定した市内在住の里親への委託を開始したことによって、これまで以上に利用を促進することができた。                                                                                                                                                               |
| 102 |                 | 一時預かり事業の実施    | 子育て支援課 | 一時的に保育が必要となる家庭のために、認可保育所・幼稚園等における一時預かりを実施します。                                                                      | 実施施設数            | 6か所    | 7か所    | 9か所    | 8か所    | 7か所    | 市内認可保育施設において、一時預かり事業を実施した。<br>施設名 利用延べ人数<br>青葉保育園 38人<br>那珂の森保育園 2人<br>青葉桐の花保育園 4人<br>なかがわ保育園 24人<br>パティススポーツ幼稚園博多南校 780人<br>那珂川第一幼稚園 4,874人<br>福岡ビノキオこども園 1,318人<br>南畑ビノキオ森のこども園 1,630人<br>総数 8,670人                                                  |
| 103 |                 | 病児・病後児保育の実施   | こども応援課 | 子どもが病気でも仕事を休むことができない親等をサポートするために、病児や病気回復期にある児童の保育事業を実施します。                                                         | 病児・病後児保育を実施する施設数 | 1か所    | 1か所    | 1か所    | 1か所    | 1か所    | 施設:キッズデイケアルームなかがわ(那珂川市道善)<br>R5年度利用者数:489人<br>令和5年度は福岡県の無償化(上限2,000円/日)が開始されたため、利用者数は伸びた。<br>また、令和5年度より近隣市町村(那珂川市他8市町村)間で広域協定を締結したため、広域管内の病児保育施設は相互利用が可能となった。                                                                                          |

| NO. | 施策目標 | 事務事業            | 担当課               | 事業概要                                                        | 指標項目     | R2実績値 | R3実績値 | R4実績値 | R5実績値 | R6目標値 | R5実施状況(現状と課題、実現性等)                                                        |
|-----|------|-----------------|-------------------|-------------------------------------------------------------|----------|-------|-------|-------|-------|-------|---------------------------------------------------------------------------|
| 104 |      | 保育所職員の研修等への参加促進 | 子育て支援課<br>(中央保育所) | 保育所職員の資質を高めるため、施設内で定期的に研修会を開催するとともに、施設外で行われる研修会等への参加を促進します。 | 研修会の実施回数 | 4回    | 3回    | 3回    | 3回    | 2回    | 園内でのAEDの研修や理学療法士による子どもの体の発達と使い方の研修を開催したり、園外でもにじいろキッズが開催している研修や発達の研修に参加した。 |

| NO. | 施策目標                   | 事務事業               | 担当課    | 事業概要                                                           | 指標項目             | R2実績値 | R3実績値 | R4実績値 | R5実績値 | R6目標値 | R5実施状況(現状と課題、実現性等)                                                                                                                                   |
|-----|------------------------|--------------------|--------|----------------------------------------------------------------|------------------|-------|-------|-------|-------|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 105 |                        | 届出(認可外)保育施設への支援    | 子育て支援課 | 市内の届出保育施設の保育環境を向上し、民間保育サービスにおける安全・衛生を確保するため、届出保育施設に対する支援を行います。 | 施設利用児童に対する補助対象者率 | 100%  | 100%  | 100%  | 100%  | 100%  | 届出保育施設を利用する児童の健康診断受診に対して補助を行った。<br>●令和5年度実施内容<br>申請のあった届出保育施設<br>Kid'sKiss博多みなみ保育園:20人中20人<br>リリイ保育園:20人中20人<br>総数:40人中40人                           |
| 106 | 2.学童保育の充実              | 安全な学童保育環境の整備       | 子育て支援課 | 児童が安全で快適に生活できる環境をつくるため、適正な施設の維持管理を行います。                        | -                | -     | -     | -     | -     | -     | 那珂川市公共施設等個別施設計画や現場確認、指定管理者からの報告に基づく対応により施設の維持管理を行った。<br>また、指定管理者によって管理及び運営が行われており、市と指定管理者が連携を図り、適切な保育環境を維持する。<br>●施設修繕:3件                            |
| 107 |                        | 学童保育所の設置・運営        | 子育て支援課 | 子どもが放課後などに安全に生活できる場をつくり、健全な児童を育成するため、市立小学校内に学童保育所を設置し運営します。    | 施設数              | 7か所   | 7か所   | 7か所   | 7か所   | 7か所   | 【令和5年度実績】<br>○学童保育所:7か所(市内各小学校の敷地内)<br>○年間平均利用児童数:621人<br>●放課後に家庭保育ができない保護者に代わり、一定の保育(生活指導)を行うため、学童保育所の管理運営を指定管理者制度により実施<br>●市立小学校に通う1年生から6年生までが入所対象 |
| 108 |                        | 待機児童のない施設環境整備      | 子育て支援課 | 学童保育における待機児童をなくすため、利用者ニーズを把握しながら児童が入所できる環境を整備します。              | 受入率              | 100%  | 100%  | 100%  | 100%  | 100%  | 待機児童 0人                                                                                                                                              |
| 109 | 3.子育てしやすい就労環境の改善に向けた啓発 | 子育てと仕事の両立のための広報・啓発 | こども応援課 | 労働者や事業主、市民に対して、子育てと仕事の両立を果たせるよう、講座やイベントの情報提供を行っていきます。          | 広報への情報掲載有無       | 無     | 無     | 無     | 無     | 有     | 子育てと仕事の両立のための講座やイベントの実施について、近隣自治体からの広報掲載依頼は無く、実施状況については不明である。                                                                                        |
| 110 |                        | 再就職支援のための情報提供      | こども応援課 | 出産・子育てなどにより退職した女性が再就職できるよう、技能や資格取得のための講座に関する情報提供を行います。         | 広報への情報掲載回数       | 12回/年 | 11回/年 | 12回/年 | 12回/年 | 10回/年 | 子育て女性就職支援センターのチラシを窓口に設置した。<br>ハローワークと連携し、ひとり親家庭の就労相談や就労支援講習の案内を行った。                                                                                  |

基本施策(3) 地域ぐるみで子育てをするコミュニティをつくる

|     |                   |                    |        |                                                              |               |     |     |     |     |     |                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|-----|-------------------|--------------------|--------|--------------------------------------------------------------|---------------|-----|-----|-----|-----|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 111 | 1.地域で子育てを支える活動の充実 | 各種地域行事の支援          | 社会教育課  | 地域住民のコミュニティ意識の醸成に向けて、区の公民館活動や社会教育団体のイベントなどを積極的に支援していきます。     | -             | -   | -   | -   | -   | -   | ●各区公民館:区公民館が行う活動に対し、活動補助金を支出している。(上限52,000円)<br>●各種社会教育団体:活動補助金を支出し、活動を支援した。                                                                                                                                                                                                               |
| 112 |                   | 自治会・各種連絡協議会との連携    | 社会教育課  | 地域に根ざした子育てを展開するために、自治会や各種連絡協議会との連携、協力体制を深めていきます。             | -             | -   | -   | -   | -   | -   | ●区公民館連絡協議会、子ども会育成会連絡協議会、市PTA連絡協議会とは事業実施にあたって、企画やイベント運営に関わるなど、連携・協力ができた。                                                                                                                                                                                                                    |
| 113 |                   | 住民相互の子育て支援         | こども応援課 | 地域で子育てを支援するため、就労の有無に関わらず、子育てを住民相互で支援するファミリー・サポート・センターを運営します。 | 組織数           | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   | 組織数 1(ファミリー・サポート・センターなががわ)<br>委託先 特定非営利活動法人チャイルドケアセンター<br>依頼件数 200件<br>会 員 数 おねがい会員 419人<br>おたすけ会員 88人<br>どっちも会員 39人                                                                                                                                                                       |
| 114 | 2.子どもの安全を守る活動の充実  | 交通安全教室・防犯教室の開催への支援 | 安全安心課  | 交通事故や犯罪に遭う児童をなくすため、学校・地域・警察と連携し、交通安全教室や防犯教室が開催できるように支援します。   | 交通安全教室等の開催状況  | 0回  | 5回  | 7回  | 10回 | 7回  | ●現状:交通安全指導員・春日警察署と共同で、市内7小学校にて児童に対する交通安全教室を実施した。市内3中学校では、警察署の協力のもと、交通安全に関する啓発を行った。<br>●課題:道路交通法の改正により自転車のヘルメットが努力義務化されたことから、ヘルメット着用に関する普及に努めなければならない。<br>特に、那珂川南中学校にあっては自転車通学も一部認められていることから、交通安全及びヘルメット着用への意識をより一層高めていかなければならない。                                                           |
| 115 |                   | 青少年指導委員会の設置        | 社会教育課  | 青少年の非行を防止し、健全な育成を図るため、青少年指導員会を設置し活動を支援します。                   | 青色回転灯装備車両出勤回数 | 27回 | 32回 | 69回 | 78回 | 90回 | 各ブロックによる月1回程度の地域の青パト巡回活動と、<br>少年補導員による月2回の市街地の青パト巡回活動、<br>また、夏の合同パトロールを実施し、青少年の非行防止の健全な育成を図ることに貢献した。                                                                                                                                                                                       |
| 116 |                   | 青少年育成市民会議の支援       | 社会教育課  | 地域が一体となった青少年の健全育成の活発な取り組みを推進するため、青少年育成市民会議の活動を支援します。         | -             | -   | -   | -   | -   | -   | ●那珂川市青少年育成市民会議の活動を支援。<br>市民会議は青少年問題の持つ重要性に鑑み、広く市民の総意を集結し、国、県及び市の施策と呼応して、青少年の健全な育成を図ることを目的とし、4つの部会に分かれて活動を実施した。<br>総務部会:青少年健全育成年見発表会&パレードを実施した。<br>育成部会:人形劇団やじろべえの公演を年1回実施した。<br>社会見学(たびら昆虫自然園)を実施した。<br>家庭部会:出生届出時に、保護者へのチラシの配布。<br>子育てフォーラム、子育て講演会「親講座」を実施した。<br>広報部会:広報誌「あおぞら」発行(年間1号発行) |
| 117 |                   | 各区防犯活動への支援         | 安全安心課  | 地域における自主防犯活動を推進するため、各行政区が取り組む地域防犯活動を支援します。                   | 補助金の交付状況      | 36区 | 37区 | 37区 | 37区 | 36区 | 今後も各区の防犯組合と連携し支援をしていく。                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 118 |                   | 防犯パトロールの実施支援       | 安全安心課  | 地域での児童の安全確保や青少年の非行を防止するため、青パトの整備など地域住民による防犯パトロール活動を支援します     | 青パト助成金の交付状況   | 20台 | 17台 | 16台 | 16台 | 21台 | 地域住民が防犯パトロール活動を実施できるよう、青パト申請の補助や市公用車の活用などを対応していく。                                                                                                                                                                                                                                          |

| NO. | 施策目標 | 事務事業    | 担当課   | 事業概要                                       | 指標項目       | R2実績値 | R3実績値 | R4実績値 | R5実績値 | R6目標値 | R5実施状況(現状と課題、実現性等)             |
|-----|------|---------|-------|--------------------------------------------|------------|-------|-------|-------|-------|-------|--------------------------------|
| 119 |      | 防犯意識の啓発 | 安全安心課 | 防犯意識を高めるため、チラシや冊子を配布し、防犯に関する住民への情報提供を行います。 | 住民への情報提供回数 | 12回   | 12回   | 12回   | 12回   | 12回   | ●SNSの活用等、紙媒体以外での情報提供方法を検討していく。 |

| NO.                      | 施策目標              | 事務事業                | 担当課            | 事業概要                                                                                                                                                                                                                                                      | 指標項目         | R2実績値               | R3実績値               | R4実績値                         | R5実績値              | R6目標値             | R5実施状況(現状と課題、実現性等)                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|--------------------------|-------------------|---------------------|----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|---------------------|---------------------|-------------------------------|--------------------|-------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 基本施策(4) 子育てに優しい生活環境を整備する |                   |                     |                |                                                                                                                                                                                                                                                           |              |                     |                     |                               |                    |                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 120                      | 1.バリアフリーのまちづくりの推進 | 道路照明灯の設置促進          | 建設課            | 必要箇所に道路照明灯の設置など、安全な道路環境の整備を進めています。                                                                                                                                                                                                                        | -            | -                   | -                   | -                             | -                  | -                 | 【R5修繕実績】<br>7件(球切れ6件、自動点滅器等の故障1件)                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 121                      |                   | 公共空間のバリアフリー化の推進     | 建設課            | ベビーカーや車いすでの移動に配慮した生活環境のバリアフリーを推進するため、道路(車道、歩道)及び公共施設における整備を進めます。                                                                                                                                                                                          | 整備距離         | 那珂川・宇美線<br>L=191.0m | 那珂川・宇美線<br>L=119.0m | 那珂川・宇美線(3工区)(4工区)<br>L=144.0m | 西川原・仲線<br>L=205.0m | 那珂川・宇美線<br>L=480m | 車道幅員7.0m、歩道幅員2.5mの歩道と車道の段差を解消するため、道路改良工事を実施。また、歩行者の安全性を確保するために横断防止柵、障がい者誘導ブロックを設置した。                                                                                                                                                                                                      |
|                          |                   |                     | 障がい者支援課        |                                                                                                                                                                                                                                                           | -            | -                   | -                   | -                             | -                  | -                 | 市が維持管理を行っている施設・道路等のバリアフリーについては、新設・改修の時期に所管課が適宜実施している。                                                                                                                                                                                                                                     |
| 122                      |                   | ユニバーサルデザインの普及       | 障がい者支援課        | すべての人が使用できるデザインの構築に向けて、ユニバーサルデザインの普及に努めています。                                                                                                                                                                                                              | -            | -                   | -                   | -                             | -                  | -                 | ユニバーサルデザインの普及の一環として、まちづくりの1つである「ふくおか・まごころ駐車場」制度について、窓口やホームページ等で周知した。                                                                                                                                                                                                                      |
| 123                      | 2.子どもの遊び場の確保      | 学校施設の地域開放           | 社会教育課          | 子どもの遊び場を確保するため、学校休業時の小学校体育館施設(体育館、運動場)を開放します。                                                                                                                                                                                                             | 子どもの参加人数     | 1,965人              | 1,359人              | 2,732人                        | 3,903人             | 6,000人            | ●学校開放(岩戸、岩戸北、安徳北、安徳南)1,543人<br>●放課後子供教室(安徳、片縄、南畑)2,360人<br><br>●各小学校全年学年へチラシの配布やポスター等の掲示を行い周知した。スポーツプログラムを実施する際、事前に独自のチラシを作成、配布し、学校のホームページにも掲載してもらった。学校開放においても、スポーツプログラムを実施した。                                                                                                            |
| 124                      |                   | 放課後子ども総合プランの検討      | 社会教育課          | 放課後児童クラブ(学童保育所)と学校施設等の地域開放事業が一体となって子どもの居場所を確保することを目指し、教育委員会及び関係機関と連携し、放課後子ども総合プランの推進を進めて行きます。<br>また、放課後児童クラブ(学童保育所)の指導員と放課後子供教室の協力者が協働して就学児童が放課後等を安全・安心に過ごし、子ども達に多様な体験活動等を行うことができる見守り体制について引き続き検討していきます。<br>また、地域学校協働本部の設置についても、教育委員会及び関係機関と連携し、検討していきます。 | 開設か所数        | 3か所                 | 3か所                 | 3か所                           | 3か所                | 7か所               | ●令和5年度は、放課後子供教室の周知を強化するために、実施校全校児童にチラシの配布を行うと共に学校のホームページに掲載してもらった。また、放課後子供教室運営協議会に、放課後児童クラブの指導員も委員として参加してもらい、放課後児童クラブとの連携を図るために、意見交換を行った。<br><br>放課後子供教室実施校<br>安徳小学校、片縄小学校、南畑小学校                                                                                                          |
|                          |                   |                     | 子育て支援課         | 検討の有無                                                                                                                                                                                                                                                     | 有            | 有                   | 有                   | 有                             | 有                  | 有                 | 放課後子供教室運営委員会に参加した(2回)                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 125                      |                   | 子どもの遊び場としての市民体育館の開放 | 社会教育課          | 子どもの遊び場を確保するため、市民体育館をニュースポーツ体験広場として開放します。                                                                                                                                                                                                                 | 施設の開放状況      | 4回                  | 5回                  | 16回                           | 17回                | 18回               | 現状:令和5年度は通常通り実施することができた。<br>課題:中体連の開催等、市民体育館で大会が開催される回数が毎年流動的であり、大会のため施設が利用できず、令和5年度は全て開催できたが、目標値に到達することができなかった。                                                                                                                                                                          |
| 126                      |                   | 児童館情報の発信            | こども応援課         | ふれあいこども館及び児童館設置の目的や実施事業を広く市民に知らせるため、様々な手法により児童館情報を発信します。                                                                                                                                                                                                  | 情報紙の発行回数     | 12回/年               | 12回/年               | 12回/年                         | 12回/年              | 12回/年             | 12回/年                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|                          | 人権政策課             |                     | 児童館だよりの発行回数・件数 |                                                                                                                                                                                                                                                           | 0回           | 0回                  | 0回                  | 0回                            | 0回                 | 3回                | 児童館だよりの発行: 0回<br>広報なかがわや、恵子児童館のホームページで情報を発信している。また、毎月ふれあいこども館には児童館の行事予定を掲示し、募集を呼び掛けている。また、必要に応じてイベントの参加者募集のチラシやポスターを作成し、小・中学校や施設に配布している。                                                                                                                                                  |
| 127                      | 子どもの遊び場の確保と整備     | 子どもの遊び場の確保と整備       | 都市計画課          | 児童が安心して遊べる公園を安全に維持管理し、整備します。                                                                                                                                                                                                                              | -            | -                   | -                   | -                             | -                  | -                 | ・遊具が設置されている全ての都市公園(N=45箇所)において遊具点検を実施した。また、点検結果に基づき、遊具の取替及び修繕を実施した。<br>・大町公園において、フェンス改修工事を実施した。高さ4mのフェンスを設置したことで、子どもたちが安心してボール遊び出来る公園となった。                                                                                                                                                |
| 128                      |                   | 「アンビシャス広場」活動事業の実施   | 社会教育課          | 地域で子どもを見守る環境をつくるため、公民館や学校施設等を利用して実施する「アンビシャス広場」活動事業を実施します。<br>また、放課後こども総合プランに基づく、放課後子供教室との連携についても検討していきます。                                                                                                                                                | 補助(支援)件数     | 3件                  | 3件                  | 3件                            | 3件                 | 3件                | ● 放課後等に、子どもたちに安全・安心で多様な体験や活動をする機会を提供することを目的に、市と委託契約を行い実施する「EnjoyCoCo!那珂川北中アンビシャス広場」「たんぼぼアンビシャス広場」と、県からの補助を受け実施する「片縄小アンビシャス広場」において子ども達の居場所作りを実施した。<br><br>【令和5年度アンビシャス広場 活動場所】<br>・たんぼぼアンビシャス広場…安徳北小学校体育館、東地区公民館<br>・EnjoyCoCo!那珂川北中アンビシャス広場…那珂川北中学校図書室、北地区公民館<br>・片縄小学校アンビシャス広場…片縄小学校多目的室 |
| (参考)                     |                   |                     |                |                                                                                                                                                                                                                                                           |              |                     |                     |                               |                    |                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|                          | 1.人権教育の充実         | 子どもの権利の周知及び学びの支援    | こども応援課         | 那珂川市子どもの権利条例を令和3年4月に施行したことにより、子どもの権利の周知及び学びの支援をします。                                                                                                                                                                                                       | 行政区別説明会の実施回数 |                     | 0行政区                | 14行政区                         | 5行政区               | 累計<br>37行政区       | 那珂川市子どもの権利条例を広く周知するため、行政区別に説明会を行った。<br>大人だけでなく、子ども自身にも本条例を身近に感じてもらうため、令和4年度より小学校や中学校での授業にも取り入れている。今後の課題として、未就学児とその保護者に対する周知を行う必要がある。                                                                                                                                                      |